

九州大会優勝!  
3年連続5回目



### 全員ラグビー

第13回九州ジュニア・ブロック大会において、3連覇(決勝は福岡と同点優勝)を果たした。準決勝の熊本戦では、シーソーゲームの展開で、終盤に中村(時津RS)が右隅にトライを決め、2点差。難しい角度からのコンバージョンを岩本(長与YR)がバーに当てながら見事に決め同点とした。そのまま点数は動かず、同点となりトライ数も同じのため抽選。キャプテンの山道(大村RS)が見事、次回出場権を獲得し、5年連続、全国大会を確定させた。

### 九州大会の結果

- 1回戦 VS 鹿児島県 (57-7)
- 準決勝戦 VS 熊本県 (17-17)
- 決勝戦 VS 福岡県 (5-5)
- トライ数も同じのため両チーム優勝

### VS 熊本県

勝てば、全国大会が決まる大事な一戦。打倒、長崎県に燃える熊本県は確かに強かった。開始早々、チャンスを得たのは長崎県。右に展開し、大きくゲインするもタッチにでる。長崎が油断した一瞬を見逃さず、熊本はクイックでリスタート。12番に独走を許し、トライ。長崎も反撃にでる。岩本のポジションチェンジからトライ。センタースクラムから右に展開。野田(長与YR)の絶妙なパスから中村が走りきりトライ。前半を10-5で折り返す。後半、先制トライを決めたのは熊本。ペナルティからまたクイックリスタートでトライ。相手の9番のカットインを止めきれず、大きくゲインされ、密集サイドをつかれトライ。17-10となる。早く追いつきたい長崎だったが、キックを使う熊本に思うようにゲインできない。残り5分で、熊本ゴール前のペナルティから右に展開しトライ。

この時点で2点差。難しい角度から岩本が真ん中のバーに当てながらも見事に決め同点とする。このままなら抽選だが、両チームと最後の攻めを繰り返す。長崎は、右に展開し、江口(大村RS)から山道にオフロードパスでつなぎ、逆転トライと思ったが、スローフォワードの反則。その後、熊本の攻めをディフェンスでなんとか食い止める。熊本がソッコンし、試合終了。抽選の結果、長崎県が獲得。この時点で、全国切符を手に入れた。



### VS 福岡県

熊本戦が終わり、安心してないか。気持ちが切れていないか。これだけが、不安要素だった。今年の福岡もタレントが揃っている。この相手はどうやって勝つか。試合をする前に、気持ちが一番大事であることを分かって欲しかった。決勝の当日、アップもやや緊張が見て取れる。「最初の5分が勝負。とにかく、前に出続ける。反則でもいい、ミスをしてもいい。タックルだけ一発やってこい!」と話し、送り出す。前半のスタート。調子は悪くない。しかし、福岡のディフェンスに長崎のBKが後手を踏む。逆にFWはセットプレーが安定し、大きい福岡相手に健闘している。しかし、先制したのは福岡。ゴール前のラックから、左につながれトライ。キックは決まらず、5-0となる。集中力が切れることを恐れていたが、長崎はここから攻めに出る。しかし、福岡のディフェンスを簡単に破れず

そのまま前半を終了する。ハーフタイムで、田中(ゆのきRS)に「後半もまだいけるか?」と聞くと、「大丈夫です。」といい、メンバー変更なしで後半スタート。終始、福岡の陣地で試合を進める。5分で、田中と岩永(長与YR)を交代させ、FWの圧力を維持させた。残り10分で、安定したプレーを見せていた坪田(長与YR)に代え、縦突破に強い桑田(長与YR)を投入させる。しかし、トライまでつながらず。残り6分で、下釜(小江原中)と大澤(長崎RS)を交代。川口(三和中)も負傷し、代わりに大塚(大村RS)を投入。2人を同時に交代させ、最後の勝負に出る。勝っている福岡も早く自陣から逃げたいが、キックがうまく決まらない。岡崎(長崎RS)が福岡のキックをうまく処理し、攻撃を続ける。残り1分。最後の攻撃に出る長崎。一瞬の隙をつき、末(三和中)が体をねじ込ませ、同点トライ。(写真:トライシーン)



キックは決まらず、このまま同点で2年連続同点優勝となった。前に出続け、一生懸命に体を張り続けた長崎。全国でも持ち前の長所を活かし、全国に出場できなかったチームの分まで戦ってきた。

